平成 19 年 12 月 27 日

各位

住友信託銀行株式会社
日本電気株式会社
株式会社プロシップ

リース会計基準変更に対応したリース会社向け新サービスの開発について

住友信託銀行株式会社（以下、住友信託銀行という）、日本電気株式会社（以下、NEC という）、株式会社プロシップ（以下、プロシップという）は、新リース会計基準に準拠した帳票等を Web 経由で提供できるシステムを開発し、リース会社（以下「レッサー」）向けに SaaS 型で提供することを合意しました。（SaaS：Software as a Service　業務システムを複数の会社が共同利用できるように提供するサービス）

このサービスは、リース会計基準変更によりリース資産を貸借対照表（B/S）にオンバランスする必要が生じたことに対応するもので、レッサーが提供するリースを利用するユーザー企業（以下「レッシー」）は、決算業務の際に使用する帳票等を Web 経由で利用可能となります。

今般のリース会計基準の変更により、レッシーはリース資産を自社保有資産と同様にオンバランス処理することを求められるため、従来より経理・会計処理に係る事務負担が増えることになりますが、本サービスを利用することにより、レッシーがその負荷を軽減できることが見込まれます。このような新会計基準に対応したサービスを SaaS 型でリース会社向けに提供するのは、本サービスが国内初となります。

本サービスを利用することにより、レッサーは自社でのシステム開発に係る負荷を大幅に軽減できるとともに、レッシーが必要なときに必要な資料を出力できるサービスを提供することが可能となります。

本サービスは、NEC がプロシップの固定資産パッケージ「ProPlus」（注）をサービス基盤（エンジン）として採用してシステム技術力を活かした開発を行い、システムの運用についてもアウトソーシングにおける豊富な運用経験を基に対応いたします。また、リース会社向けコンサルティング経験が豊富なアビームコンサルティングが業務的な側面についての支援を行ないます。

住友信託銀行は、傘下のリース会社である住信リース株式会社と住信・松下フィナンシャルサービス株式会社を通じて本サービスの開発に参画し、レッシーにとって利便性の高いサービスを提供することで顧客満足度の向上を図るとともに、グループリース事業の基盤拡充を図ります。

サービスの提供時期は 2008 年 6 月を予定しております。これにより、3 月期決算のレッシーは新リース会計基準を第 1 四半期より適用できるようになります。

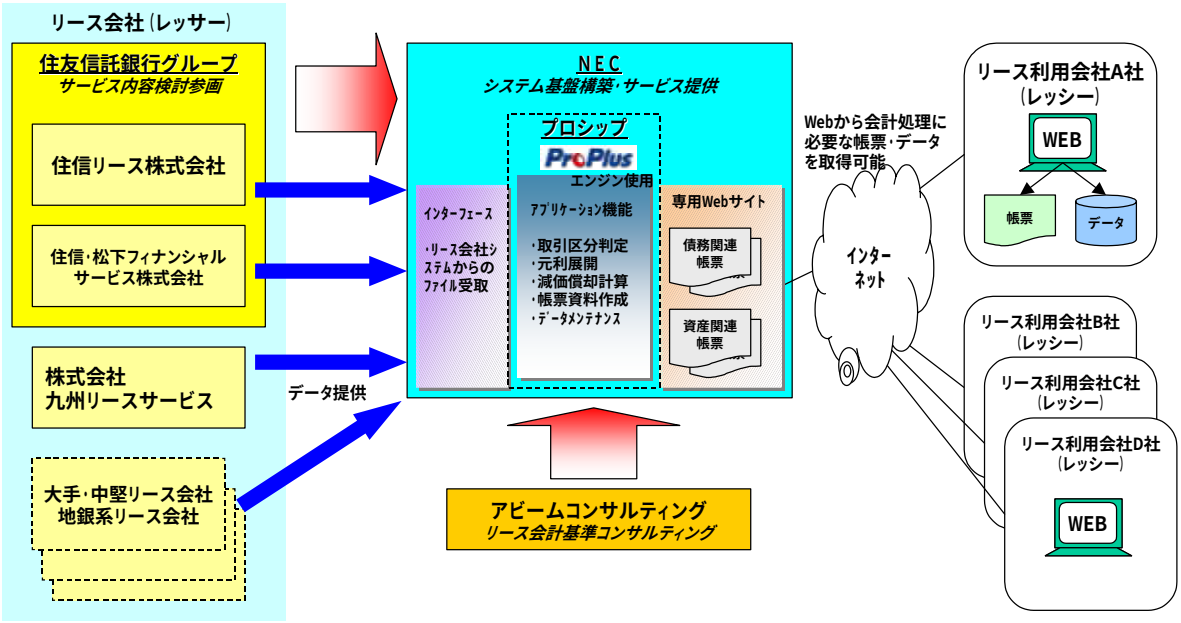
本サービスを利用するレッサーは、前述の住信リース、住信・松下フィナンシャルサービスに加えて、総合リース会社で九州最大手の株式会社九州リースサービスを予定しております。また、メガバンク系列に属さない大手リース会社も利用を検討している他、独立系中堅・中小リース会社や地銀系リース会社にも広く利用を呼びかけております。

以 上

（注）　大手企業を中心に 2400 社を超える導入実績があり、固定資産管理/リース資産管理の業務分野でトップクラスのシェアを誇るパッケージ。

※　「ProPlus」は、株式会社プロシップの登録商標です。

【概要図】



【本サービスに関するお問い合わせ先】

住友信託銀行株式会社　金融事業企画部（中村・村山）　TEL 03-6256-5390
日本電気株式会社　金融ニュービジネス企画本部（加納・西尾）　TEL 03-5746-3882
株式会社プロシップ　システム営業統括本部（今泉）　TEL 03-5209-3225